

Pacifichem2025での海外論文発表



目で見ると
海外論文発表

山村志悟*

Presentation at Pacifichem2025

Key Words: Organic Chemistry, Pyrazole, Benzyne, Poly(ortho-phenylene)

<参加会議名>

The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2025 (Pacifichem2025)

<開催場所>アメリカ・ハワイ・ホノルル

<渡航期間>2025年12月15日~12月20日

<発表タイトル>

Arynes Polymerization by N-Aryl Pyrazoles as Initiators

<感想>

2025年12月15日から12月20日の6日間、ハワイにて開催された The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2025 (Pacifichem2025) に参加しました。本学会は、「グローバル課題に取り組むコミュニティづくり」をテーマに、気候変動、健康、材料開発などの地球規模の課題解決を目的とした国際的かつ学際的な化学会議です。1984年より5年ごとに開催され、今回は第9回として米国ハワイ・ホノルルで開催されました。私が参加した中では最大規模の学会で、複数の会場に分かれて多数のセッションが同時進行で行われていたため、講演を聴講するのも一苦勞でした。今回私は、「高度な分子変換のための新規反応設計」に関する研究について口頭発表を行いました。海外での国際学会参加は、初めての経験でしたが、15分間の発表後には活発な質疑応答が行われました。英語での質疑

応答は容易ではありませんでしたが、国際的に活躍されている研究者の先生方から多角的な視点に基づく質問や貴重なご意見をいただき、自身の研究を客観的に見直す非常に有意義な機会となりました。また、様々な研究者らの発表から、最先端の研究のアイデアも学びました。さらに、ハワイでの開催ということもあり、私の所属研究室からも多くの教員と学生が参加しており、研究交流と親睦を深めながら有意義な一週間を過ごすことができました。空き時間には、ハワイの食文化や自然、街の雰囲気を楽しむことができ、国際学会参加を通じた学術的・文化的双方の経験を積むことができました。最後に、本学会での発表にあたり多大なるご支援を賜りました生産技術振興協会に心より御礼申し上げます。



Pacifichem 会場写真



* Shisato YAMAMURA

2000年3月生まれ
大阪大学大学院・工学研究科・応用化学専攻 卒業(2024年)
現在、大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻 鷹巣研究室、博士後期課程2年
TEL: 06-6879-7414
E-mail: s_yamamura@chem.eng.osaka-u.ac.jp



研究室メンバー及び、研究者との写真



Pacificchem の公式トロリーバス



口頭発表の様子

